

学 校 教 育 目 標 等

【 校 訓 】 何を求める

1 学 校 教 育 目 標

- (1) 知性を磨き、可能性を拓こう
- (2) 情感と品性を養い、人間性を深めよう
- (3) 心と身体を鍛え、逞しく生きよう
- (4) 郷土を学び、世界を見つめよう

2 スクール・ミッション

- (1) 個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付け、主体的に判断し行動することができる生徒の育成
- (2) 他者に対する思いやりや感謝の気持ちなど、豊かな人間性や社会性を培い、多様な人々と協働し、支え合える生徒の育成
- (3) 多様化する国際社会の中で、新たな社会的な価値を創造できる生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針

- (1) 主体的学習力：個性や能力に合う学び方を工夫・改善し、主体的に知識・技能を身に付ける
- (2) 基礎力：課題を見つけ、解決するために、より良い答えや解を導き出す力を身に付ける
- (3) 思考・分析力：事実や考えを客観的に比較・吟味して、分析する力を身に付ける
- (4) 発信・表現力：自分の気持ちや考えをまとめたり、分かりやすく伝える方法を身に付ける
- (5) 自他認知・協働力：自分や他者を肯定的に認め、思いやりを持ち協働していく力を身に付ける
- (6) 計画実行力：挑戦心を持ち、見通しを立て、失敗を恐れずにやり遂げる力を身に付ける

○教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 単位制の趣旨を生かし、生徒の特性や進路希望等に応じた教科・科目が選択できる教育課程の編成・実施に努める
- (2) 個に応じたきめ細かな指導を行い、学力の確実な定着を図る教育課程の編成・実施に努める
- (3) 生徒の自主性・自律性を育成し、豊かな対人関係と活動性を育む特別活動等を推進する教育課程の編成・実施に努める
- (4) 郷土の伝統と文化を学び、自らの能力を開拓し、豊かな国際感覚を養う教育課程の編成・実施に努める

○入学者の受入れに関する方針

- 次の両方を満たす生徒
- (1) 自己の進路目標の実現に向け積極的に学習に励み、生徒会活動・行事・部活動にリーダー性を発揮し、主体的に取り組む生徒
 - (2) 地域の文化や伝統を大切にし、広く世界に関心を持つ人間性豊かな調和のとれた生徒

4 指 導 上 の 重 点 事 項

重点目標	「令和の日本型学校教育」を踏まえ、特色と魅力ある学校教育の実現を目指す (1) 生徒一人一人の可能性を引き出し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す (2) 社会に開かれた多様で柔軟な教育課程の編成を目指す (3) 「新たな教師の学びの姿」の実現を目指す
学習指導	さまざまな生徒の学習ニーズに対応した、学びの質の向上 ・現行教育課程の課題の整理・対策 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進する授業の質的転換 ・「指導と評価の一体化」による学習評価 ・教育DXに基づいた授業改善 ・「Ai GROW」検査結果を踏まえた、探究型学習の改善・充実
生徒指導	生徒一人一人の人格を尊重し、個性の伸長を図るとともに、社会的資質・能力や行動力の育成 ・生徒一人一人の「自己指導能力」の育成 ・生徒の発達に応じた、組織的・体系的な研修を進め、生徒一人一人に寄り添った心のケアの充実 ・生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援の確立 ・「北海道版不登校対策プラン」に基づく取組の推進
進路指導	自己理解を深め、主体的に自らの力で進路を切り拓く能力の育成 ・3年間を見通した、進路指導計画に基づく、情報の提供やガイダンス機能の充実 ・進路意識を育て、組織的・系統的な進路指導体制の確立 ・地域人材を活用した教育活動の展開
健康・安全指導	生徒の命と健康を守る取組の充実 ・生命を尊び、他を思いやる心と健康な心身の保持・向上 ・健康と安全に関する自己管理能力の育成 ・熱中症警戒アラートに基づく、適切な暑さ対策 質の高い教職員集団の育成 ・教育法規や教育倫理を遵守した、スクール・コンプライアンスに基づいた教育活動の確立 ・「心理的安全性」を確保した、職場環境の改善・充実